



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月13日

上場会社名 名南M&A株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7076 URL <https://www.meinan-ma.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠田 康人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 青木 将人 TEL 052-589-2795  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	311	—	103	—	89	—	58	—
2019年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	42.17	—
2019年9月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の数値及び2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	967	833	86.1
2019年9月期	492	321	65.3

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 833百万円 2019年9月期 321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,087	35.8	229	△2.9	213	△9.5	140	△9.5	95.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	1,560,850株	2019年9月期	1,314,850株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	－株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	1,384,437株	2019年9月期1Q	－株

（注）2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国・中国を始めとした貿易問題の国際的な緊張が高まり、輸出の低迷を背景に製造業の生産活動は伸び悩んだものの、企業業績や雇用情勢の改善傾向が継続しており、内需は堅調に推移しております。

M&A業界におきましては、第三者承継が政府課題として対応され始めるなど、中小企業経営者の高齢化を背景とする後継者問題が益々深刻化しており、潜在的なM&Aニーズ(譲渡ニーズ)は、一段と増加傾向にあります。東京商工リサーチの「2019年後継者不在率調査」によると、日本の中小企業の55.6%が後継者不在と半数以上の企業に及び、2018年の休廃業・解散件数は、過去最高の46,000社を超えました。国内市場の拡大と健全な競争環境維持のためにも事業譲渡などのM&Aの促進が一層求められる状況となっております。

一方で、人材不足や働き方改革を背景とするIT化への対応、国内人口の減少を背景とするグローバル化への対応等、経営環境の変化への迅速な対応が迫られる中で、事業領域の拡大や海外進出等、事業拡大手段としてのM&Aニーズ(譲受ニーズ)も一段と増加いたしました。譲渡ニーズと譲受ニーズの双方が増加する中で、当業界のマーケットは引き続き拡大傾向にあります。

このような情勢のなか、当社は金融機関や会計事務所等の提携先との一層の関係強化に取り組むとともに、ダイレクトメールの送付やセミナー開催等のダイレクトアプローチを強化することにより、M&Aニーズの獲得を図りました。製造業と医療・介護業においては、業種特化の専門チームを編成し、専門性の高いアドバイザーが対応しております。また、関西地方でのM&Aニーズの増加に対応するため、2019年4月に大阪オフィスを開設いたしました。

また、「東海地方に根ざしたM&A会社」として信頼度、認知度向上を図るため2019年12月2日付で名古屋証券取引所セントレックスへ上場いたしました。より優秀な人材を確保するとともに営業体制を強化し受託案件の増加に対応してまいります。当第1四半期累計期間においてはM&Aコンサルタントを3名増員いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間においては計17社の案件が成約し、売上高311,510千円、営業利益103,262千円、経常利益89,067千円、四半期純利益58,378千円となりました。

なお、当社はM&A仲介事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態は、総資産967,287千円、負債134,058千円、純資産833,228千円であり、自己資本比率は86.1%(前事業年度末は65.3%)となりました。財政状態の状況と、その要因は下記のとおりであります。

#### (資産の部)

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ478,059千円増加し、881,632千円となりました。これは主として現金及び預金が474,352千円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前事業年度末に比べ3,079千円減少し、85,654千円となりました。これは主として、繰延税金資産が3,010千円減少したことによるものであります。

#### (負債の部)

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ36,692千円減少し、134,058千円となりました。これは主として未払費用が22,227千円増加したものの、未払法人税等が60,164千円の減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ511,672千円増加し、833,228千円となりました。これは主として資本金が226,320千円、資本剰余金が226,320千円、及び利益剰余金が58,378千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年12月2日の「名古屋証券取引所セントレックスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	390,153	864,506
売掛金	3,348	7,150
貯蔵品	1,798	2,049
その他	8,273	7,927
流動資産合計	403,573	881,632
固定資産		
有形固定資産	19,540	19,102
無形固定資産	7,055	6,527
投資その他の資産		
投資有価証券	3,566	4,463
差入保証金	41,092	41,092
繰延税金資産	17,479	14,468
投資その他の資産合計	62,138	60,024
固定資産合計	88,734	85,654
資産合計	492,307	967,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払費用	38,675	60,902
未払法人税等	90,422	30,257
未払消費税等	24,256	17,217
預り金	9,957	5,414
賞与引当金	7,440	20,268
流動負債合計	170,751	134,058
負債合計	170,751	134,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	42,774	269,094
資本剰余金	8,944	235,264
利益剰余金	269,300	327,679
株主資本合計	321,019	832,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	536	1,190
評価・換算差額等合計	536	1,190
純資産合計	321,555	833,228
負債純資産合計	492,307	967,287

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	311,510
売上原価	135,239
売上総利益	176,270
販売費及び一般管理費	73,008
営業利益	103,262
営業外収益	
受取利息及び配当金	14
雑収入	0
営業外収益合計	14
営業外費用	
株式公開費用	9,199
株式交付費	5,009
営業外費用合計	14,209
経常利益	89,067
税引前四半期純利益	89,067
法人税、住民税及び事業税	27,921
法人税等調整額	2,767
法人税等合計	30,689
四半期純利益	58,378

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月2日に名古屋証券取引所セントレックスに上場いたしました。

上場にあたり、2019年11月29日を払込期日とする有償一般募集増資(ブックビルディング方式による募集)による新株式180,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ165,600千円増加いたしました。

また、2019年12月25日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式66,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ60,720千円増加いたしました。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金は269,094千円、資本剰余金は235,264千円となっております。